

避難所の間取りが書かれた紙を囲み
意見を出し合う参加者(共興小)



避難所運営に活発議論

市総合防災訓練を実施

千葉県房総半島沖を震源地とする大規模地震の発生とそれに伴う大津波警報の発令を想定した市総合防災訓練が9月25日、市内全15会場で開催されました。

今年の訓練では、地震発生時に身を守るための三つの安全行動をとる「シェイクアウト訓練」が導入された他、共興地区会場の共興小では、避難所運営をゲームに似た感覚で体験する図上訓練を初実施。参加した約70人の住民らが10人ずつの班に分かれ、社会福祉協議会職員の指導を受けて、要救助者の発生やトイレの確保などさまざまな想定の下でどのように問題を解決していくか、活発に意見を出し合いました。

匝瑳の景色を“空”からも堪能

3連休に「街歩きイベント」を実施

本市の景色を堪能するハイキングイベントが10月8～10日、そうさ観光物産センター^{めく}匝瑳の里を起点に行われました。

8日は、商店街を経て植木銘木の庭園やマキ堀の小路を巡る「駅からハイキング」(JR東日本主催)のおもてなしイベントが、9日には、特別ゲストとして演歌歌手のふじのみさを招いて、中央地区の8神社を回る「八社参り」が実施されました。また、10日には、八匝水道企業団の高架水槽上から市域を望む「匝瑳天空散歩」を目玉企画に、37年前に設定された“トリムコース”を回る「匝瑳ふれあい散歩」を実施。計187段の階段を上がって望む地上42mからの景色に、参加者は満足した様子を見せていました。



地上42mの高さから市域を望む「匝瑳ふれあい散歩」の参加者

来場者でにぎわう
下富谷コミュニティセンター



地区民手作りでにぎわう

第8回ヨイトコ下富谷まつり

中央地区八日市場口の下富谷コミュニティセンターで10月15日、「第8回ヨイトコ下富谷まつり」が開催されました。

この祭りは、地域の親睦などを目的に「区民手作り」を祭りのテーマとして平成21年に始まったものです。晴天に恵まれ汗ばむ陽気の中、芸能発表やバザー、軽食の出店などが催され、地区住民らで大きなにぎわいを見せました。

海岸を練り歩く神輿行列



来地区川辺・十二所神社の御神幸祭が、10月9日に行われました。神社を出発した神輿は、1年間の五穀豊穡、豊漁、商売繁盛を祈願し地区内を威勢よく渡御。雨が上がった昼過ぎには、海岸線を練り歩きました。

十二所神社御神幸祭

勇壮な御浜下り



野田地区野手・六社神社の御神幸祭が、10月9日に行われました。早朝に神社を出発した神輿は、一日かけて地区内を渡御。野手浜まで到着すると、神輿を担いだまま海に入る「御浜下り」が威勢よく行われました。

六社神社御神幸祭

地域の伝統行事

演劇通じて声掛けを学ぶ

A T M声掛け・窓口対応訓練を実施

電話de詐欺被害防止に向けて、現金自動預払機（A T M）や銀行窓口で利用者への声掛けなどを学ぶ訓練が10月12日、銚子信用金庫八日市場支店で行われました（＝写真）。

訓練には匝瑳警察署員や市内金融機関の職員など約30人が参加。利用者役として匝瑳市シニアクラブ演劇集団が協力し、演劇を通して被害防止に向けた意識を高めました。



演奏に合わせ手拍子

八日市場小で芸術鑑賞会



芸術文化学習の一環として、八日市場小学校の芸術鑑賞会が10月19日、同校体育館で開かれました（＝写真）。

今年は千葉県警察音楽隊を招いての音楽鑑賞を実施。「ミッキーマウスマーチ」など児童になじみのある演奏やカラーガード隊によるドリル演技が披露され、会場にはリズムに合わせた児童たちの手拍子の音が響きました。

交通安全を呼び掛け

クロネコヤマト交通安全教室

子育て親子の支援サービス「つどいの広場」の利用者を対象にした「クロネコヤマト交通安全教室」が10月6日、生涯学習センターで開かれ、22組の親子が参加しました。

社会貢献事業の一環で交通安全活動に取り組むヤマト運輸株式会社の協力によるもので、同社の担当者が信号機の渡り方を教えるなど、交通安全を呼び掛けました（＝写真）。



面白イベント盛りだくさん

第38回よかっぺ祭り

市民手作り・市民参加のイベントとして親しまれる「第38回よかっぺ祭り」が10月16日、本町通り商店街を中心に開催され、多くの人でにぎわいました。

秋晴れの下、市内各小学校自慢の手作りたるみこしと囃子によるパレードを皮切りに祭りがスタート。幼稚園・保育園の子どもたちによる遊戯や鼓笛の発表、歌や踊り、ステージショーなどが実施され、随所に展示や物品販売、体験といった催しのテントが並びました。また、そうさ観光物産センター匝瑳の里では、アマチュアバンドによる「よかっぺミュージックフェスタ」も開催。一日を通して大きな盛り上がりを見せました。

元気がいっぱい「手作りたるみこし」のパレード（豊和小）



休憩所に着いた参加者は雨の中でも笑顔



3日間かけて県内のコースを巡るサイクリングイベント「ツール・ド・ちば」が開催され、サイクリストが10月9日に市内を通りました。

スタート地点から約70kmで休憩所となった飯塚沼農村公園では、ふれあいパーク八日市場から温かい豚汁が振る舞われ、雨の中を走破してきた参加者約400人をもてなしました。

“温かい”おもてなし
ツール・ド・ちば通過

猿田彦を先頭に
地区内を練り歩く行列



8日夜に神社から当番区に移された御神体は、9日昼に祭礼の見せ場である還御の時を迎えます。猿田彦や、侍、殿様・巫女衣装の子どもたちを先頭に飯宮を出発した神輿は、地区内を威勢よく還御し、神社へ還御しました。

月8、9の両日行われました。

椿海地区春海・水神社の秋の祭礼が、10

水神社 秋の祭礼

神輿の通過を待つ住民ら



と御利益があると伝えられていて、神輿の出発を待つ人たちが境内の鳥居前に腰を下ろして列を作る姿が見られました。

この神社の神輿に頭上を通過してもらう

匠地区松山・松山神社の秋の大祭が10月9日に行われ、神輿が地区内を渡御し五穀豊穡を祝いました。

松山神社 秋の大祭